

AGRI IN UONUMA.



魚沼市優良モデル農業経営体 GUIDE BOOK



掲載企業

堀之内

- P1 有限会社 滝沢種苗
- P2 有限会社 向田農園
- P3 滝沢農園
- P4 八木農園
- P5 合同会社 魚沼森山ゆり園
- P6 株式会社 魚沼美来ファーム

小出

- P7 関農場
 - P8 農事組合法人 桜田農産
 - P9 荒井ファーム
- ### 湯之谷
- P10 有限会社 サンライス魚沼

広神

- P11 農事組合法人 一日市ひかり農産

守門

- P12 株式会社 うおぬま小岩農園
- P13 一般財団法人 魚沼農耕舎

入広瀬

- P14 株式会社 入広瀬

堀之内

有限会社 滝沢種苗

代表 瀧澤 大樹

毎日の暮らしの中に「ユリ」という楽しみを！



私たちの思い

機械化できない部分が多いユリを1本ずつ丹念に育て、高品質かつリーズナブルに提供できるよう努力しています。

私たちのこだわり

消費者の喜ぶ顔を思い浮かべながら、その時々々のニーズの変化に対応していけるよう心がけています。

主な作物

ユリ切り花（オリエントルユリ、LAユリ）、うるい



米どころ魚沼から全国にユリをお届けします！

米どころとして有名な魚沼で、主にユリの切り花の生産・販売をしています。生産したユリのほとんどは、関西方面を中心に、関東・九州等の生花市場へ出荷しています。一部は、ネットや直売所などで直接販売も行っております。雪が降り積もる冬場は、ユリに代わり山菜のうるいをハウス栽培しています。



働く人のインタビュー



たきざわ ひでき
瀧澤 秀樹さん (69歳)

やればやっただけ成果を期待できるのがこの仕事の魅力のひとつだと思います。法人として活動することで、従業員への待遇を改善できたり、経営を分析することに繋がっています。

ますこ ひなた
増子 陽大さん (22歳)

手間をかけた分だけ美味しい実や、美しい花に成長するところに魅力を感じながら日々作業に取り組んでいます。今後はイベントなどで、この魅力を発信していけるような仕事にもチャレンジしたいです。

所在地	魚沼市原 459-1
電話	025-794-2262
FAX	025-794-4636
HP	https://takiyuri.com/
事業内容	花き・山菜の生産
設立	1989年
資本金	800万円
売上高	1億8000万円
従業員数	11名



堀之内

有限会社 向田農園

代表 武藤 謙一

地域の一員として、地元根付いた農業経営を展開



私たちの思い

花を通してお客様に笑顔になっていただくだけでなく、地域や環境にも優しい農業を実践しています。

私たちのこだわり

安定した品質の花を生産するために、圃場への堆肥の投入など「地力」の強化に努めています。

主な作物

ユリ（切り花）



限りある農地の活用・保全にも力を注ぐ！

創業当初は、球根の販売を主な事業としていました。その後、規模拡大に合わせた法人化のタイミングで切り花の販売を開始しました。現在は、3haの圃場でユリの栽培をしています。また、経営では「地元根付いた農業」を意識しており、地域の一員として農地を利用・保全していくことを目指しています。



働く人のインタビュー



ぶとう けんいち
武藤 謙一さん（54歳）

父の後継ぎとして会社を継承。自然と共存していく中で、日々の変化を自分自身で感じ取れることが農業の良いところだと感じています。また、過去の経験から試行錯誤を繰り返し、作物に誠実に向き合い、取り組んだ結果が成果として目に見えて現れる点も魅力です。

しかし、現状、農業経営のうえで地球温暖化防止対策や人材確保といった難しい問題もあります。今後は、より良い花を生産することはもちろんのこと、農薬の使用しない土壌消毒など環境に配慮した農業の実践を目指していきます。

所在地	魚沼市原 吉水 2247
電話	025-794-3178
FAX	025-794-4165
事業内容	花きの生産、球根の卸売
設立	1971年
売上高	5500万円
従業員数	8名（臨時雇用含む）

堀之内

滝沢農園

代表 滝沢 丈夫

夢を繋いで百年産地へ、魚沼のユリ文化を後世に繋ぐ



私たちの思い

魚沼のユリ文化を後世に残すため、収益化にこだわった生産を心がけています。特に球根の口スは5%以下を目標に管理しています。

私たちのこだわり

それぞれの作物の適期を逃さないことを常に心がけ、計画・段取りを組んだり、栽培管理に取り組んでいます。

主な作物

ユリ、芍薬、ふきのとう



ユリの名産地魚沼で時代に合わせた栽培を実践

平成の初め頃までは、ユリの球根や芍薬の苗株の生産・販売を中心に事業を運営。しかし、協力生産者の減少などにより販売業務を縮小しました。現在は、ユリや芍薬などの切り花の生産を中心に取り組んでいます。米どころ魚沼の中でも、田んぼが少なかったこの地域で根付いたユリをこれからも守り続けていきます。



働く人のインタビュー



たきざわ たけお
滝沢 丈夫さん (67歳)

昭和54年、妻との結婚を機に就農。農業には、日々の作業や自身が試行錯誤した結果から農作物を作り上げる楽しさがあります。特に花づくりは、苦勞も多いですが「やってみれば面白い！」夢のある仕事です。

これからも地に足のついた経営で、魚沼ですっと農業を続けていくために、時代の変化に対応していける柔軟さを身に付けていきたいと考えています。

所在地 魚沼市原 633-1

電話 025-794-2034

FAX 025-794-5557

事業内容 花き・山菜の生産

設立 1945年頃

売上高 5400万円

従業員数 4名

代々続く農園から、魚沼が誇るユリを届けます



私たちの思い

「きれいに咲きました！」の言葉で日頃の苦勞が報われます。これからも花を受け取ったお客様の笑顔を楽しみに生産していきます。

私たちのこだわり

農業の基本である土づくりや、水・光の調整を徹底しています。こまめに天候を確認し、その時々に合わせて管理を心がけています。

主な作物

ユリ切り花（オリエントルユリ）、山菜（タラの芽・うるい）、米



雪 国の特長を活かした土づくりを実践！

魚沼市の下島という地域で花き・山菜・水稻の生産に取り組んでいます。メインの花き生産では、毎年土壌分析を実施するなど、土づくりにこだわりを持っています。また、冬季は畑に雪が積もることで、雪解け水とともに余計な菌が流れ出すなど、雪国ならではの特長があります。

働く人のインタビュー



やぎ こういち
八木 浩一さん（62歳）

30代で脱サラをして就農を決意。祖父の代から続く農業を3代目として引き継ぎ、花きの生産や稲作に取り組んでいます。就農当初は家族経営でしたが、現在は休日の確保や収益の安定化のため、従業員を雇用して経営をしています。

魚沼市は全国第一位のユリの花の作付け面積を誇っています。ユリ切花の生産量が全国トップクラスの責任は大きいですが、魚沼花き園芸組合の組合員が一丸となって産地としての責任を果たせるように取り組んでいます。

所在地 魚沼市下島 1228-2

電話 025-794-3022

FAX 025-794-3052

事業内容 花き・山菜・水稻の生産

設立 1992年

売上高 7000万円

従業員数 5名

堀之内

合同会社 魚沼森山ゆり園

代表 森山 行雄

魚沼の大地で、最高の品質を！



私たちの思い

素晴らしい農産物をお客様へお届けし、社会貢献に努めるとともに、全従業員の物心両面の幸福を目指しています。

私たちのこだわり

完璧な製品としての農産物作りを目指すとともに環境にも配慮し、持続可能な農業の実現に努めています。

主な作物

ユリ切花、シャクヤク切花、タラの芽促成、アスパラガス促成、水稻、ゆり根



最小の資源・経費で最高の品質を！

親子三代にわたり、ユリ切花を主体とする農業経営を行っています。いまままで学んできた事も活かし平成 28 年に法人化しました。経営と家計を分離することにより、経営を明確に客観視できました。魚沼の大地の中で作物そして土を究極まで理解する事が、やがては利益に繋がります。素晴らしい農産物をお客様にお届けすることによる社会貢献を目指します。



働く人のインタビュー



もりやま ゆきお
森山 行雄さん (60 歳)

父の代に始めたユリ切花に興味を持ち、農業大学卒業後に就農しました。近年の温暖化による高温により作業はキツイ場面もありますが、自分の思い描いた様な素晴らしい農産物が育てられた時の喜びは代えがたいものです。



もりやま たかひろ
森山 高広さん (30 歳)

父のユリをつくる姿やそのユリがきれいで自分でも作ってみたい、もっといいモノを作りたいと思い就農しました。より良いものをつくるための技術を確認することと、作業の効率化とマニュアル化が今後の目標です。

所在地 魚沼市 吉水 982-2

電話 025-794-2684

FAX 025-794-3409

事業内容 花き、山菜、水稻の生産

設立 2016 年

資本金 300 万円

売上高 6000 万円

従業員数 8 名

株式会社魚沼美来ファーム

代表 森山正輝

探究、変化、発展。次世代への「美来」のために！



私たちの思い

仕事内容の共有を密にすることにより、従業員が各作業の重要性や意味を理解し、仕事にやりがいを持てるように意識しています。

私たちのこだわり

高品質の作物をニーズに合わせて安定的に出荷することを心がけています。常に技術革新と収穫量増を目指して取り組んでいます。

主な作物

ユリ切り花、シャクヤク切り花、ウルイ、フキノトウ



全 ては目標とする「100年産地」のために

50回しかパンを焼いたことがないパン屋さんはいません。しかしこの職業は50年のベテランでも50回しか作物を作ったことがありません。当社のキャッチコピーは「探究」「変化」「発展」。従業員と共に一年一年を大切に経験を積み、常識にとらわれず、常に変化を求めながら探究し、次世代へとつなぐ「100年産地」への発展に努めています。

働く人のインタビュー



もりやま まさてる
森山 正輝さん (48歳)

大学卒業後、生物学と農学部で学んだことを生かした仕事をしたいと思い、結婚を機に魚沼に帰ってきて就農しました。

手をかけたことが結果につながるものが農業の魅力です。失敗もありますが、しっかりと原因を究明し対策を講じることで毎年少しずつ良くなっていくのが、はっきりと感じられます。

魚沼花き園芸組合が目標とする「100年産地」を達成するため、しっかりとした経営基盤を築き、次世代にバトンをつないでいけるよう努めています。

所在地 魚沼市原 1810

電話 025-794-5121

FAX 025-794-5121

事業内容 花き、山菜の生産

設立 2023年

資本金 500万円

売上高 9900万円

従業員数 10名

魚沼産コシヒカリの生産ナンバーワンを目指す！



私たちの思い

魚沼で30年続く農業を絶やすことなく、次世代の若手農家に技術や農地をしっかりと繋いでいきたいです。

私たちのこだわり

力仕事のイメージもある農業ですが、大型農機を導入することで、作業効率を大幅に向上した栽培を実現しています。

主な作物

米（コシヒカリ・こがねもち）、ふきのとう、八色菜



福祉事業所との連携で生産性の向上を実現

稲作だけでなく、山菜作物の生産にも取り組んでいます。複合経営により年間を通した雇用の実現と安定した収入が確保を実現。課題であった働き手の確保は、福祉事業所と農福連携を開始することで解決に繋がりました。栽培時期が重なる作物も、福祉事業所と作業分担することで同時に栽培することが可能となりました。

働く人のインタビュー



せき ゆうや
関 裕也さん (38歳)

家業として農業を始め、現在は経営を持続させていくため計画的な拡大を目指しています。福祉事業所には大切なビジネスパートナーとして、これからも農作物の生産と一緒に携わってもらい、農福連携の取組を継続したいです。

おぼた たつき
小幡 竜輝さん (23歳)

魚沼テクノスクール卒業後に会った関農場に可能性を感じて就農しました。農業は、季節ごとの作業に成長を感じることができます。今後は、魚沼で一番のトラクターオペレーターを目指します！

所在地 魚沼市岡新田 366-3

電話 025-792-3936

FAX 025-792-3936

事業内容 水稻・野菜・山菜の栽培

設立 2006年

売上高 1億2000万円

従業員数 3名

小出

農事組合法人桜田農産

代表 大平二郎

地域農業の将来を担う組織の基盤を作り、次世代へ継ぐ



私たちの思い

食品安全・環境保全・生産者の労働安全に配慮し、GAP（農業生産工程管理）を取得。持続可能な農産物の供給を目指しています。

私たちのこだわり

手間をかけすぎず、低コストでより良いものを作ること、次世代の農家が活躍できるように、安定した経営維持を心がけています。

主な作物

米（コシヒカリ、こしいぶき、こがねもち、新之助）、深雪なす、加工用トマト、ふきのとう、里芋



地域農業の担い手として食育活動にも参加

地域住民とともに平成20年2月に農事組合法人を立ち上げました。現在は約30町歩の稲作と、深雪なすや加工用トマトなどの野菜を生産して、地域農業の担い手として農作業を行っています。また、地元の小学校と連携して、子どもたちの農作業体験を初めとする食育活動にも積極的に取り組んでいます。



働く人のインタビュー



おおだいら じろう

大平 二郎さん（69歳）

先祖代々の田畑を引き継ぐ形で農業を始めました。次第に個人での運営に限界を感じ、法人化することを決意。複数の従業員と作業に取り組むことができる点に、法人として農業をする良さを感じています。

また、法人として活動することで、担い手のいなくなった農地や新規就農者の受け皿という役割になっていることも実感しています。

今後は人材育成にも注力して、現在の農地を若手農家に引き継ぐという形で、理想の引退を遂げたいです。

所在地 魚沼市干溝 1192-1

電話 025-792-2749

FAX 025-792-2749

事業内容 稲作・園芸

設立 2008年

資本金 150万円

売上高 5000万円

従業員数 8名

小出

荒井ファーム

代表 荒井俊輔

魚沼の夏の風物詩、八色原のスイカを全国にお届け！



私たちの思い

八色産スイカといえば全国でも有名なブランドスイカ。日々工夫を凝らし、ブランドの名に恥じない美味しいスイカを作り続けています。

私たちのこだわり

最も力を入れているのが土壌作り。独自の改良を重ねた自家製堆肥を使うことで、スイカがを健康に育つ環境を保っています。

主な作物

スイカ、米（こがねもち、こしいぶき、コシヒカリ、新之助）



歴史ある農園で八色産スイカを栽培

魚沼市と南魚沼市のあいだに広がる八色原。八海山をはじめとする越後三山に囲まれた盆地には、スイカの生産に適した黒色火山灰土の土壌が広がっています。真夏の日差しが強く、昼夜の寒暖差が大きい気候は、米と同様スイカの栽培にもうってつけ。私たちは、日本有数のスイカの名産地魚沼で長年スイカの栽培に取り組んでいます。

働く人のインタビュー



あらい しゅんすけ
荒井 俊輔さん（46歳）

江戸時代から350年以上も続く農家に生まれ、後継ぎとして就農しました。安全・安心はもちろんのこと、何よりも味に一切の妥協をしないという強いこだわりのもと日々農作業に取り組んでいます。去年よりも今年、今年より来年と、1年毎に味の質を上げていくことに力を入れています。

スイカの消費量が日本一の新潟県で栽培する全国屈指の有名ブランド「八色産スイカ」。その名に恥じぬよう、これからも抜群の糖度とみずみずしい食感を誇る魚沼の名産品を生産し続けていきます。

所在地 魚沼市十日町 895

電話 025-792-4668

FAX 025-792-4668

事業内容 水稻・スイカの生産

売上高 8000万円

従業員数 5名

豊かな自然を守るために、農業を元気にするために。



私たちの思い

私たちは誰もが安心して食べられる、有機低農薬の魚沼産コシヒカリとこがねもち 100%使用の杵つき餅を産地直送しています。

私たちのこだわり

当社の魚沼産コシヒカリは除湿された大量の風を送風して乾燥しているため、はざ掛け米に近く、地球環境にもやさしいお米です。

主な作物

米（コシヒカリ、こがねもち、8割減農薬特別栽培米）



担い手不足に立ち向かうエコファーマー

代々農業を営んできた3名の農家が平成7年に設立。当時、湯之谷地区は高齢化が進み、田んぼの担い手不足が問題になっていました。サンライズはその問題を解消するために、米作りをやめた農家から田んぼを借り受けて魚沼産コシヒカリを生産しています。また、環境保全型農業を実践する農業者を新潟知事が認定する「エコファーマー」を取得しています。

働く人のインタビュー



おおもも かずのり

大桃 一則さん (70歳)

ひとつの判断や取り組みで結果が変わってくるところが農業の難しさであり醍醐味だと思います。また、「美味しかった」「ありがとう」など、嬉しい事や達成感をダイレクトに感じる事ができることが、農業の魅力だと感じています。



かねこ ゆうき

金子 勇輝さん (28歳)

新潟県の農業大学校を卒業後に就農。幼い頃からの祖父母の手伝いを通して農業の楽しさを知りました。大変な事もありますが、収穫後の嬉しさなど、楽しい事も沢山あるので、とても良い仕事です！

所在地

魚沼七日市 668-1

電話

025-792-5778

FAX

025-792-5924

HP

<https://umai-kome.com/>

事業内容

水稻の栽培・販売、作業受託

設立

1995年

資本金

2520万円

売上高

1億1490万円

従業員数

13名



農事組合法人 一日市ひかり農産

代表 桜井元雄

明るく楽しく、集落営農スタイルの儲かる農業



私たちの思い

「自分達の農地は自分達で守る」をモットーに、地域（集落）に貢献し、農業を通して人材育成を図っています。

私たちのこだわり

JGAP（農業生産工程管理）を取得し、一日市ならではの高品質な良食米を生産し、消費者の皆様安心して食べていただいています。

主な作物

米（コシヒカリ・新之助・こしいぶき）、深雪なす、ふきのとう、タラの芽



集落営農スタイルの良さを発揮した農業

魚沼市のほぼ中心に位置する一日市集落は、標高 1000m を超える山々より流れ出る羽根川を水源としています。私たちはそんな一日市集落で、農薬や化学肥料を減らした「新潟県特別栽培農産物」を、畦畔に除草剤を使わない安全・安心なこだわりの農法で生産しています。米販売では全国展開をしつつ、更なる高みを目指して集落営農の良さを発揮します。

働く人のインタビュー



さくらい もとお
桜井 元雄さん（69 歳）

目標はキャッチコピーでもある「明るく、楽しく、儲かる農業」。そのために、法人だからこそできることもあると考えています。自社で生産するブランド米の販路を拡大し、農業でも生計が立てられることを証明したいです。

たかはし たつや
高橋 達弥さん（40 歳）

スポーツ関係の仕事に 17 年従事したのち、知人からの誘いを受けて就農。新潟にきて初めて食べたお米の美味しさに感動したのを今でも覚えています。将来は世界中の人に私たちのお米を食べてもらいたいです。

所在地 魚沼市一日市 422-1

電話 025-792-3245

FAX 025-792-3245

事業内容 水稻、園芸

設立 2007 年

資本金 410 万円

売上高 5000 万円

従業員数 8 名

守門

株式会社うおぬま小岩農園

代表 小岩孝徳

守り繋ごう豊かな自然を、
支え広げよう人の輪を



私たちの思い

先人から託された魚沼の農地を大切に維持管理すること、そして後世に安全で豊かな自然を残せるよう心掛けています。

私たちのこだわり

消費者の方に安心・安全なお米を届けるために有機栽培を実践しています。酒米など様々な品種の栽培にも取り組んでいます。

主な作物

米（コシヒカリ、ミルクークイーン、五百万石、一本杓、山田錦）、枝豆、ふきのとう



独自の農法で安心安全なこだわりの米を栽培

棚田 600 枚以上を管理する小岩農園は、冬季には積雪が 4m にも及ぶ標高 300m にある日本有数の豪雪地帯で水稻栽培に取り組んでいます。減農薬栽培の棚田米や有機米など、自家製有機肥料や炭を使った独自農法で美味しさと安心・安全にこだわったをお米を全国に届けます。

働く人のインタビュー



こいわ たかのり
小岩 孝徳さん (49 歳)

日本一の品質の米を作ること为目标に、日々米作りに取り組んでいます。そのために、自分で考え工夫できることも農業の魅力のひとつだと考えています。

限りある農地を後世に残したいと思ったことがきっかけで法人化を決意しました。現在は、若者を積極的に雇用して自社農業の拡大と共に、自分が培ってきた技術や知識を若い世代に伝えていくという取り組みを行っています。

社内では、日々ディスカッションを繰り返し、様々な意見を取り入れながら最善策を模索しています。

所在地 魚沼市大倉 790

電話 025-797-3933

FAX 025-797-2322

HP <https://un-farm.com/>

事業内容 稲作、米麴の製造・販売

設立 2020 年

資本金 300 万円

従業員数 5 名



農ある豊かな未来を、雪国から。



私たちの思い

地域の皆様と共に、より多くの農地を次世代に引き継ぎ、農業と農村の振興に貢献したいと考えています。

私たちのこだわり

有機栽培・減農薬の特別栽培・慣行栽培の天日干し・雪室貯蔵・今摺り米など様々な種類のお米をご用意しています。

主な作物

米（コシヒカリ、こがねもち、和みりゾット）、ソバ（栃木在来）



中山間地の自然を活かした米やソバを栽培

東京ディズニーランド2個分の中山間地の田んぼが、山手線の内側と同じ面積の範囲の中にあります。そのため、コシヒカリやソバは約400mある標高差を利用した適期収穫を可能としています。その高品質な農産物を受注してから精米・製粉してお届けいたします。また、「魚沼そばパスタ」など6次化商品の開発にも注力しています。

働く人のインタビュー



かねこ よしひろ
金子 芳博さん（52歳）

法人として農業をすることで、福利厚生を充実させることができます。結果的に、従業員が継続して農業をすることができ、地主や地域に安心してもらうことにも繋がります。より発展した状態で後継者に引き継ぐことが目標です。

ほりさわ ともや
堀澤 智也さん（24歳）

自分が稲のために行った一挙手一投足が生育の変化として目に見えるのが農業の面白さだと感じています。また、自分で管理した稲がたくましく育っていく姿は、とても喜ばしく、私にとって農業の一番の魅力です。

所在地

魚沼市須原 20-5

電話

025-797-2255

FAX

025-797-2562

HP

<https://www.uonuma-agri.or.jp/>

事業内容

水稻やソバ等の栽培、加工、販売等

設立

1995年

売上高

9000万円

従業員数

11名



入広瀬

株式会社入広瀬

代表 佐藤 貞

愛郷無限、故郷への愛に限りなし



私たちの思い

地域の農地の受け皿として農業に参入。山間部農業の担い手として地元との連携をとり、先人からのバトンを次世代に繋いでいきます。

私たちのこだわり

「量より質」をモットーに食味にこだわった米の生産を心がけています。また、生産だけでなく加工と販売まで自社で行っています。

主な作物

米（コシヒカリ）



厳しい環境でも質の高い米を作る農法を模索

魚沼市旧入広瀬地区を中心に、主に水稻を栽培しています。山間部特有の冷涼な気候や冷たい雪解け水は稲作には悪条件で、収穫量を増やすにはかなり厳しい環境です。教科書通りの稲作が通用しないこともあるこの地域で、ベストな方法を模索し続け、土地に合った農法を実践しています。



働く人のインタビュー



さとう ただし
佐藤 貞さん（46歳）

資格試験がない農業は、誰でもできるのが特長。また、失敗も「来年がある！」と切り替えれば、経験として次シーズンに活かすことができます。法人での農業は、受けられる支援制度の幅が広がるのがメリットです。

所在地 魚沼市穴沢 892-1

電話 025-796-2455

FAX 025-796-2794

HP <https://www.irihirose.jp/>

事業内容 農産物の生産・加工・販売

設立 2007年

資本金 800万円

売上高 9400万円

従業員数 20名





魚沼市優良モデル農業経営体

GUIDE BOOK

お問い合わせ



魚沼市 産業経済部 農政課

〒946-8601 新潟県魚沼市小出島 910 番地
TEL 025-793-7647 FAX 025-793-1016



魚沼市ホームページ
<https://www.city.uonuma.lg.jp>